

salesforce

Intelligence 2023年2月リリース

Salesforce
2023/3

※ 2022年4月7日より、Datorama は Marketing Cloud Intelligence に
製品名が変更になりました。
当面は移行期間として旧名称の使用や併記がある旨ご了承ください。



Datoramaの製品名称が 新しくなりました

2022年4月7日 World Tour Sydneyにて
Renamingが発表されました！

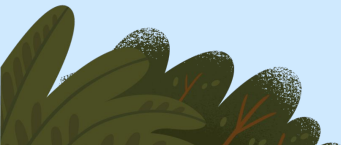
New!!

Datorama▶ **Intelligence**



1 接続 & 統合関連

2 プラットフォーム & ダッシュボード関連



Processing Queue (処理キュー)



新機能

Processing Queue は、管理者がデータストリームの処理を表示、制御、優先順位付けするための強化された機能を提供します。

詳細

データストリームの処理を大規模に管理することは困難です。以前は、180日以上データを処理したい場合、管理者はサポートに連絡する必要がありました。

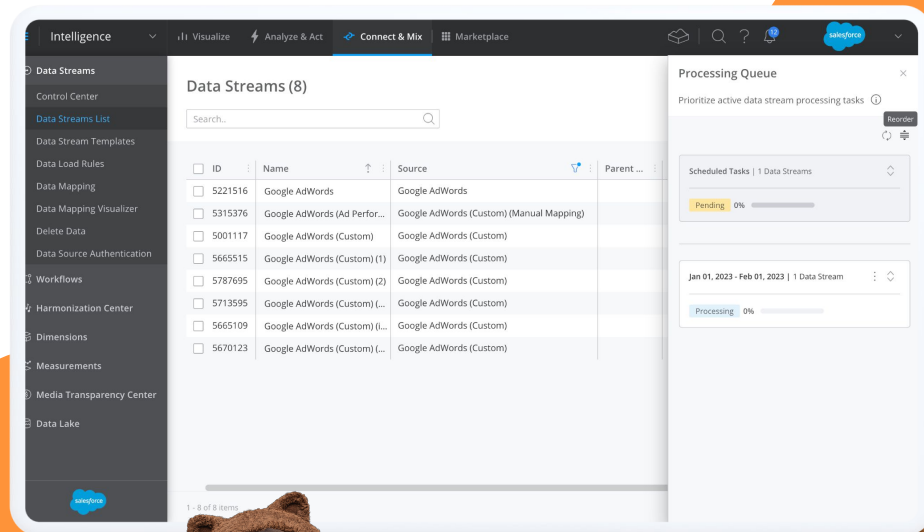
新機能の Processing Queue では、管理者が365日分のデータを処理し、アクティブな処理タスクを簡単に追跡し、ビジネスニーズに従って優先順位を設定することができます。

アクセス

接続 & 加工 > データストリーム一覧 > Processing Queue

関連記事

[Salesforce ヘルプ](#)



データストリーム・コントロールセンター



新機能

データストリーム・コントロールセンターは、データストリーム管理を一元化し、実用的なインサイトを備えた単一のビューに集約します。データストリームの状態を簡単に把握し、データ品質を評価し、取り込みに関する問題を解決することができます。

詳細

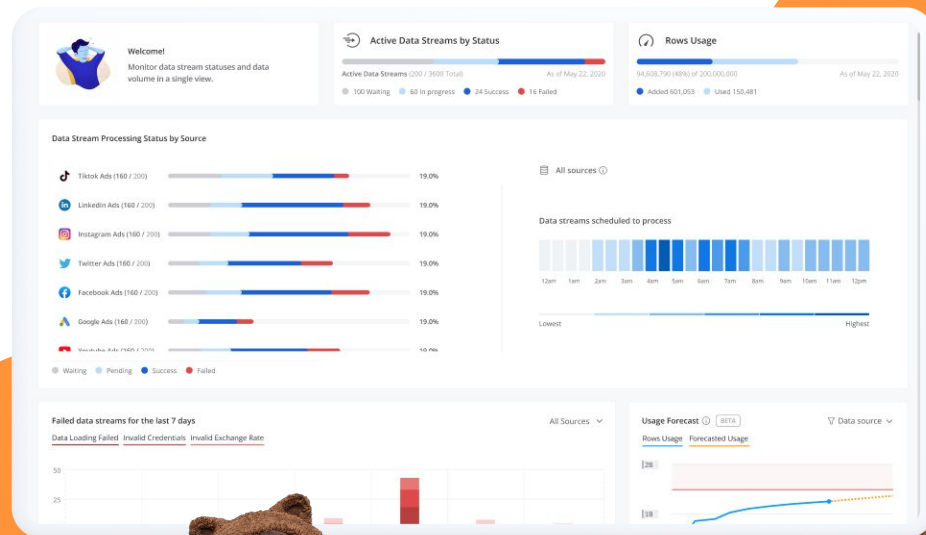
データストリーム・コントロールセンターは、管理者がデータ品質を監視し、それに応じて行動できるようにする新しいデータ管理コンソールです。管理者は、データの異常を特定し、インサイトを得て、数秒以内にデータの健全性を向上させるための情報に基づいた意思決定を行うことができます。

アクセス

接続 & 加工 > データストリーム一覧 > Data Stream Control Center

関連記事

[Salesforce ヘルプ](#)



Adobe Analytics 2.0 カスタム



新機能

新しい Adobe Analytics コネクタは、最新の Adobe API エンドポイントである Adobe Analytics 2.0 と統合されました。

詳細

Adobe は、新しい API バージョンをリリースし、複数の内訳レポートの容量を増やし、より分かりやすく効率的なクエリ方法を提供します。

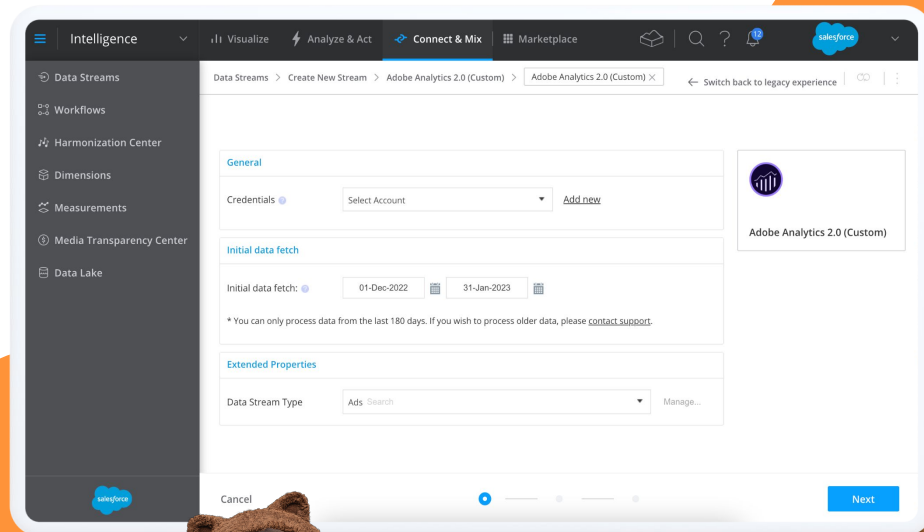
新しいコネクタは、これらの新しいエンドポイントを利用するため、特に大量のユースケースを持つお客様にとって価値のあるものとなっています。

アクセス

接続 & 加工 > データストリーム一覧 > Adobe Analytics 2.0 (Custom)

関連記事

[Salesforce ヘルプ](#)



Google Ads Manager カスタム



新機能

新しい Google Ad Manager カスタムコネクタでは、ユーザーがどのディメンションやメジャーメントを抽出するかを選択できるため、より包括的なユースケースをカバーすることができます。

詳細

コード不要のシンプルな統合により、管理者は Google Ad Manager から必要なディメンションとメジャーメントの組み合わせを選択することができます。

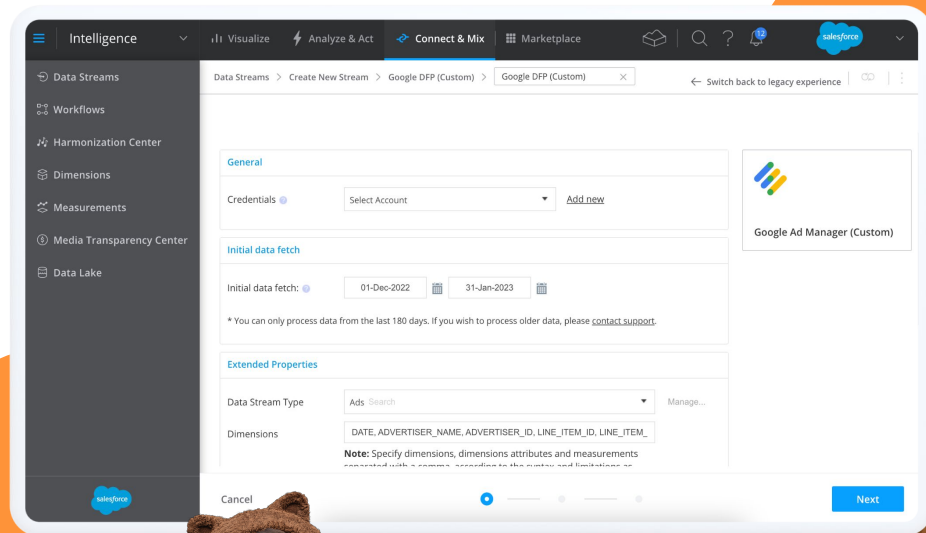
さらに、ユーザーはレポートをフィルタリングして、リクエストが既に絞り込みされた状態にすることもできます。標準コネクタでパフォーマンスの問題があったお客様にとって非常に便利です。

アクセス

接続 & 加工 > データストリーム一覧 > Google Ad Manager (Custom)

関連記事

[Salesforce ヘルプ](#)



Google Analytics | GA4 機能拡張



新機能

GA4 プロパティの標準 Google Analytics コネクタの柔軟性を拡張し、指標も追加しました。

詳細

新しいドロップダウンにより、ユーザーはトラフィックソースディメンションについて、Session-scoped または User-scoped のどちらかを選択することができます。

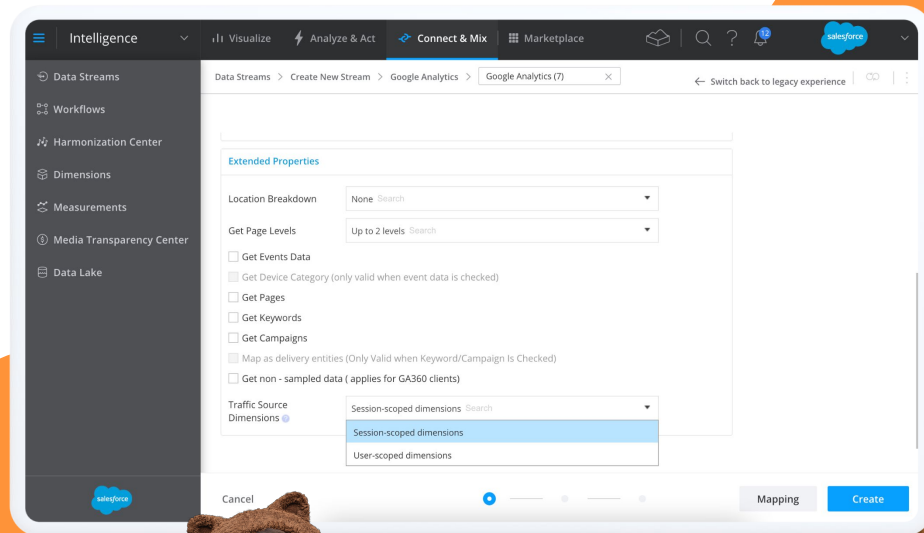
さらに、「engaged sessions」と「new users」の指標もデータセットに追加されました。

アクセス

接続 & 加工 > データストリーム一覧 > Google Analytics

関連記事

[Salesforce ヘルプ](#)



API コネクタの改良

新機能

API コネクタに新しい機能や改善が追加されました。

詳細

- Snapchat Ads - オーディエンスのブレイクダウンがサポートされるようになりました。
- Amazon DSP - ジオのブレイクダウンがサポートされるようになりました。
- Pinterest Ads - アトリビューション設定のドロップダウンでより多くのオプションが追加され、「video-views」の指標が利用可能になりました。
- Salesforce SOQLが最新のSOQLバージョン(v52)に対応しました。
- AppNexus for Network - 「Feature Costs」「Segment Data Costs」の指標が利用可能になりました。

アクセス

接続 & 加工 > データストリーム > データストリーム一覧 > 新規作成



API コネクタのバージョンアップデート



新機能

下記 API コネクタが最新の API のバージョン変更に対応するようにアップデートされました。

詳細

- Google Analytics
- Facebook Ads
- Innovid
- Google Campaign Manager
- Outbrain
- Integral Ad Science
- Google Ads
- Amazon Ads
- Yahoo Japan Ads



Salesforce Data Cloud コネクタの改良

新機能

無料の SQL クエリを使用して、Data Cloud データをデータストリームに取り込むことができるようになりました。Data Cloud データは、Granular Data Center と TotalConnect の両方に取り込むことができます。

詳細

旧コネクタは、計算済みインサイトと定義済みのインサイトの 2種類のデータセットしかサポートしていませんでした。データを抽出するために必要な技術的知識はほとんどありませんが、選択肢は限られていました。

新コネクタでは、Data Cloud インスタンスからあらゆるタイプのデータを抽出することができます。新コネクタでは、定義済みの可視化は作成されませんが、独自のユースケースをサポートするためにカスタマイズしたクエリを使用することができます。

アクセス

接続 & 加工 > Granular Data Center > データストリーム > 新規追加 > テクニカルベンダー

接続 & 加工 > データストリーム一覧 > 新規作成 > テクニカルベンダー

関連記事

[Salesforce ヘルプ - Granular Data Center](#)



データレークの改名

新機能

データレークは、Granular Data Center と名称が変更になりました。

詳細

なぜ Granular Data Center なのか？

当社は 2020 年にデータレークの提供を開始して以来、有償アドオン機能として最高のパフォーマンスを発揮してきました。この機能の価値をよりよく伝え、営業担当やお客様との会話をシンプルにするため、データレークを「Granular Data Center」と改名することにしました。

この名前を選んだ理由は、以下の通りです：

- Granular = 集計済みの大量データで、使用前に準備が必要なもの。この機能で使用される主なデータの種類です。この言葉を使うことで、この機能が他の Intelligence と何が違うのか、何のために使われるのかが、お客様にとってすぐにわかるようになるはずです。
- 「Center」は、特定のユースケースのためのツールセットを包含する機能に対する、プラットフォーム全体の既存の命名スキーマと一致します。例：ハーモナイゼーションセンター
- お客様がすでにお持ちの、より一般的な Lake / Warehouses / Lakehouses / Workbench と比較することを避けることができます。



管理者によるのディメンションと Orphan Keys の削除

新機能

管理者がワークスペース内の使用していないディメンションや Orphan Keys を削除できるようになりました。

詳細

ユーザーは、使用しなくなったデータを削除したい場合があります。その場合、データストリームを削除するか、データの削除機能を使ってメジャーメントデータを削除することができます。

しかし、例えば、パフォーマンスに影響を与える可能性のある多くの Orphan Keys など、ディメンションデータを手動で削除する必要がある場合があります。これまでは、サポートに連絡して、その作業を代行してもらう必要がありました。

今回のリリースから、管理者はより自立し、自分でディメンションや Orphan Keys を削除できるようになりました。

アクセス

接続 & 加工 > ディメンション > ディメンションの検索

該当するエンティティを選択し、「Show Orphan Keys」ボタンをクリックすると、Orphan Keys が表示され、削除できます。

関連記事

[Salesforce ヘルプ](#)



1 接続 & 統合関連

2 プラットフォーム & ダッシュボード関連



ピボットテーブル一覧のアップデート



新機能

ピボットテーブル一覧の UI が新しくなりました。

詳細

データストリーム一覧と同様に、ピボットテーブルで実行できるアクションは、ピボットテーブルを選択すると表示されます。

アクセス

分析 & 活用 > ピボットテーブル

Id	Name	Created By	Created On	Last Update By
<input type="checkbox"/> 15582				
<input type="checkbox"/> 15576				
<input type="checkbox"/> 15575				
<input checked="" type="checkbox"/> 15547				
<input type="checkbox"/> 15385				
<input type="checkbox"/> 15384				
<input type="checkbox"/> 15160				
<input type="checkbox"/> 15159				
<input type="checkbox"/> 15158				
<input type="checkbox"/> 14730				
<input type="checkbox"/> 14718				
<input type="checkbox"/> 14569				
<input type="checkbox"/> 14522				
<input type="checkbox"/> 14521				
<input type="checkbox"/> 14518				
<input type="checkbox"/> 14065				



ビジュアルピボット



新機能

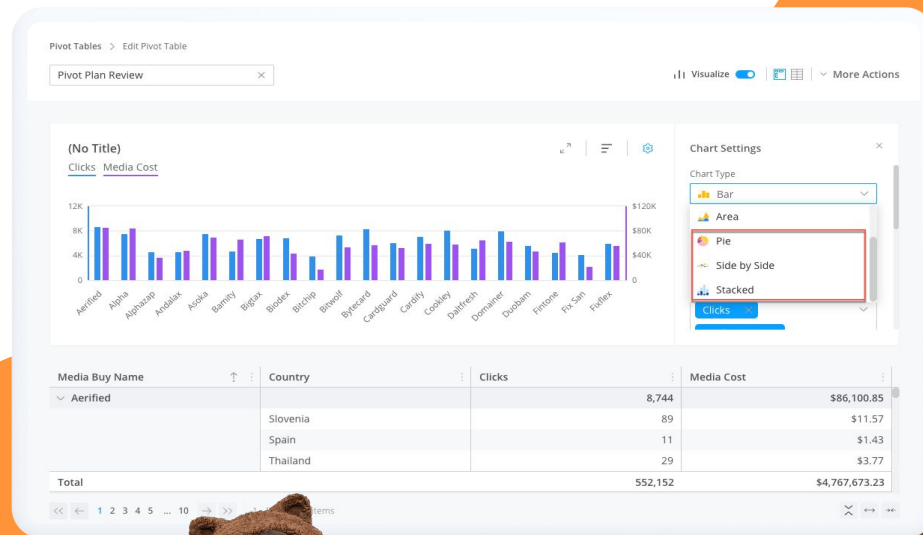
円グラフ、サイドバイサイドグラフ、積上げ棒グラフでデータを可視化できるようになりました。

詳細

現在利用可能なチャートの種類に加え、円グラフ、サイドバイサイドグラフ、積上げ棒グラフが追加され、データの視覚的な探索がより可能になりました。

アクセス

ピボットテーブル > ピボットテーブル編集 > Visualize > Chart Settings > Chart Typeを選択



複数ウィジェットの選択

新機能

1つのダッシュボードページで複数のウィジェットを選択できるようになりました。

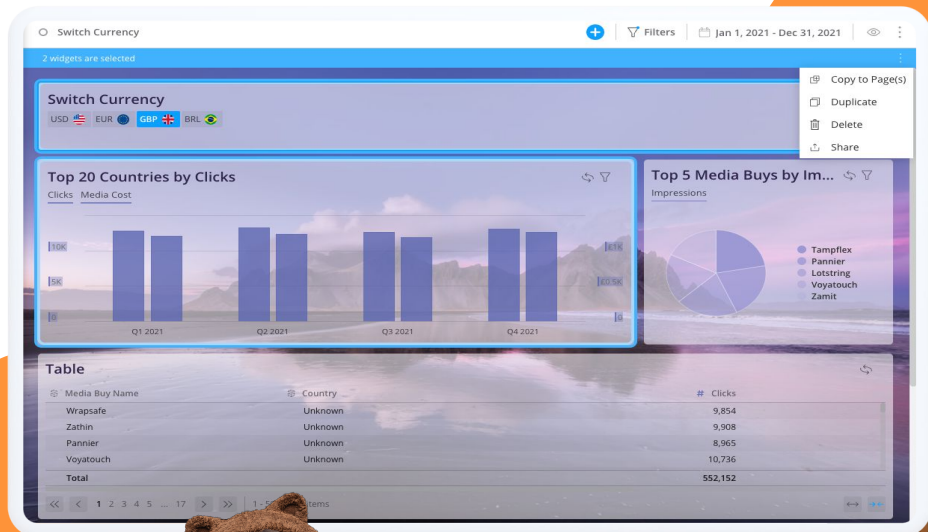
詳細

編集モードで、ダッシュボードページ内の複数のウィジェットを選択すると、以下の操作が可能です：

- Duplicate (複製)
- Delete (削除)
- Copy to page(s) (ページにコピーする)
- Share (共有)

複数のウィジェットを選択する場合：

- **Mac ユーザー** - command キーを押しながら、ウィジェットをクリックします。
- **Windows ユーザー** - shift / CTRL キーを押しながらウィジェットをクリックします。



ダッシュボードページのフィルター付き共有リンク

新機能

ダッシュボードページを埋め込みで共有する際に、現在選択されているインタラクティブフィルターの設定値を含む共有リンクを生成して共有できるようになりました。

詳細

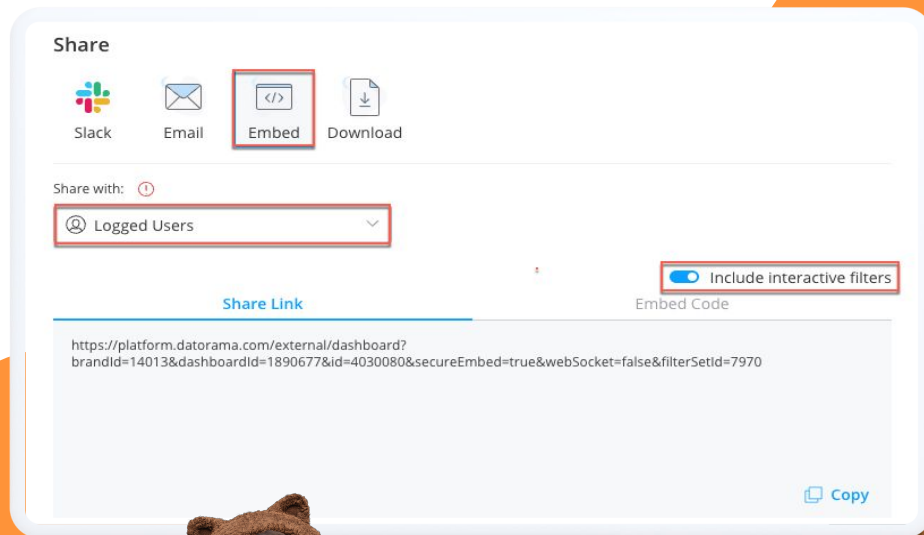
インタラクティブフィルターで値を選択し、フィルター付きのリンクを作成して他のユーザーと共有することができます。

アクセス

管理者とパワーユーザーは、共有をクリックした後、「埋め込み」をクリックし、「ログインユーザー」を選択します。

「Include interactive filters(インタラクティブフィルターを含む)」を有効化し、コピーをクリックします。

Slackで連携する場合 - Slackオプションの下にある、「Include interactive filters(インタラクティブフィルターを含む)」を選択し、「ページリンクを追加」オプションをクリックします。



レポートの自動無効化



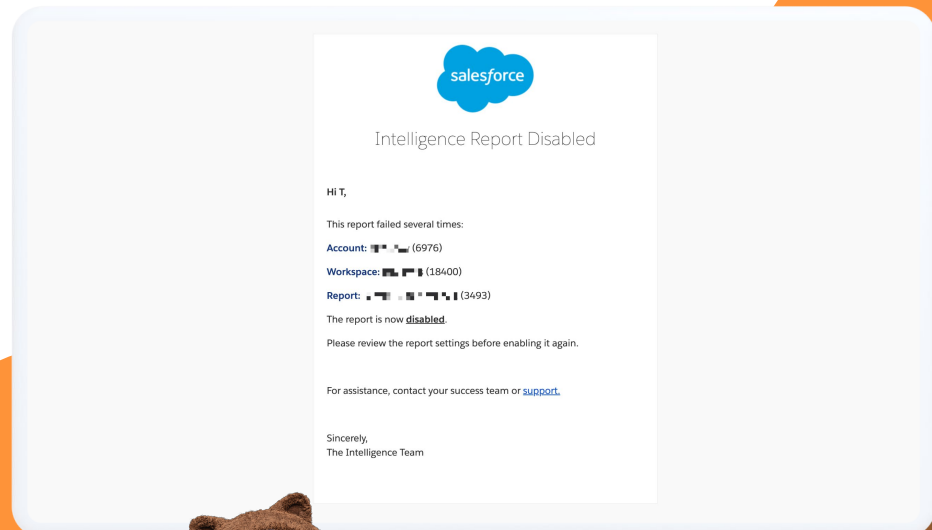
新機能

5回連続して失敗したレポートは、自動的に無効化されるようになりました。

詳細

レポートが5回連続で失敗した場合、自動的に無効化され、次のようになります：

- 無効化されたレポートから直接データを取得するように定義されているデータストリームも無効化されます。
- レポートが無効化されると、レポート作成者はメールを受け取ります。このメールには、レポートの詳細と影響を受けるワークスペースが含まれています。
- レポート作成者がアクティブなユーザーでない場合、レポートのワークスペースにアクセスできるすべての管理者にメールが送信されます。
- 影響を受けるワークスペースの通知エリア内に通知が表示されません。



ワークスペース設定の改良

新機能

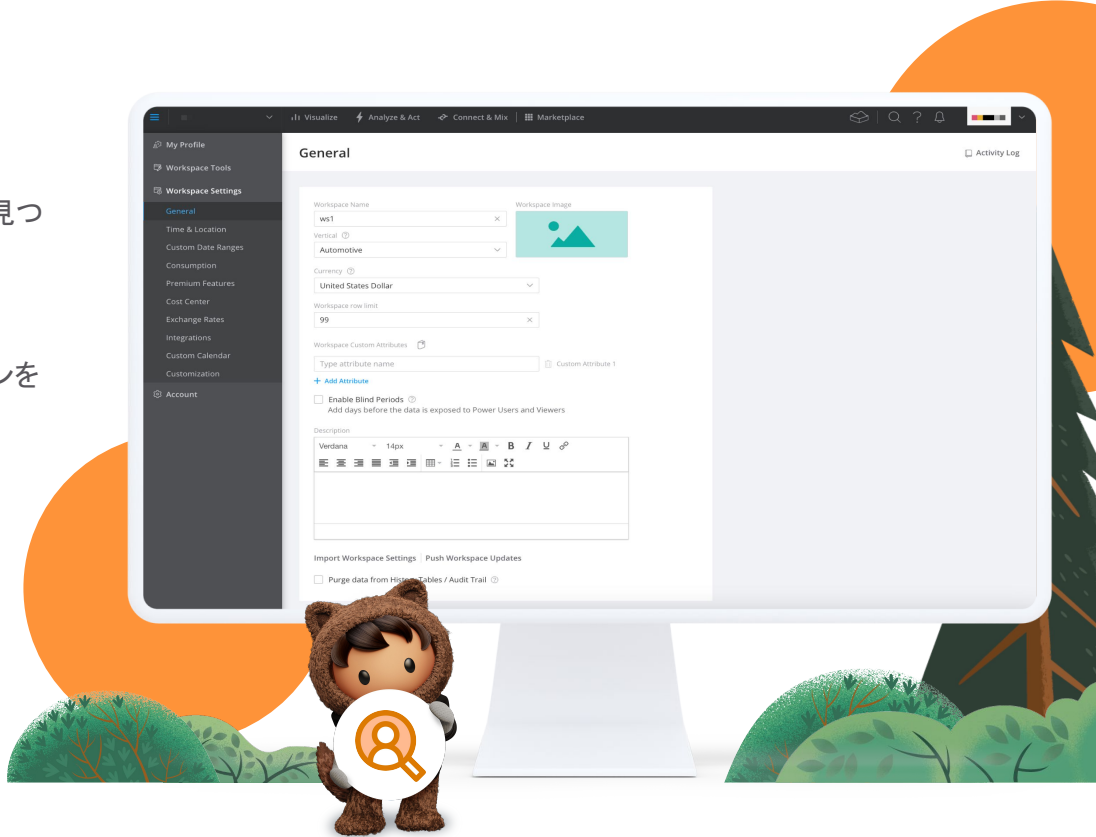
ワークスペース設定の UI が新しくなりました。

詳細

新しいレイアウトで、必要なワークスペースの設定を簡単に見つけることができます。

アクセス

ワークスペース名 > 「ワークスペースの設定」の歯車アイコンを選択



ワークスペースにアクセスするユーザーを招待する

新機能

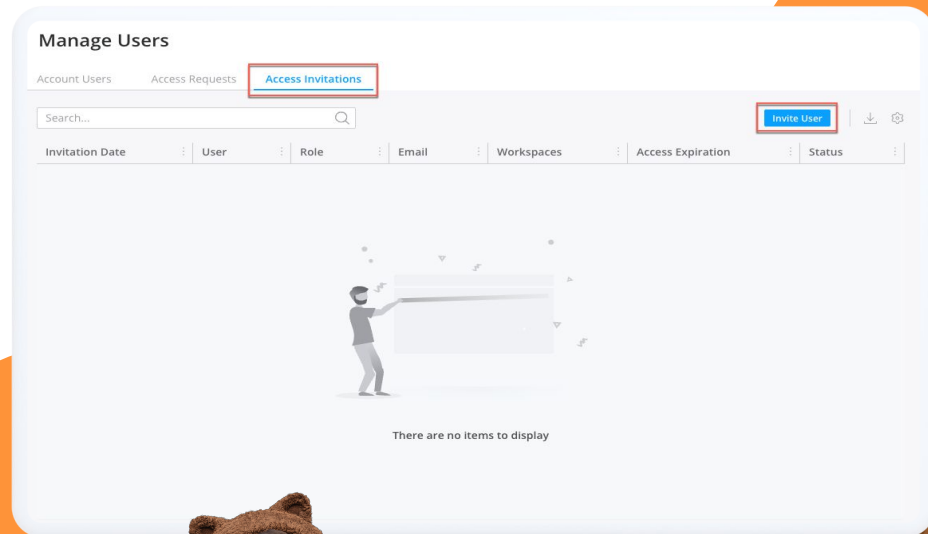
ユーザーが、アクセス招待タブを使用して、他の Intelligence ユーザーを自分のワークスペースに招待できるようになりました。

詳細

招待リストの表示と管理、既存の招待の取り消し、新しい招待の送信ができます。招待されたユーザーは、招待メールを受け取り、2週間以内に招待を承諾するか拒否するかを決めることが可能です。

アクセス

ユーザーの管理 > アクセス権の招待



セッションの強制タイムアウト

新機能

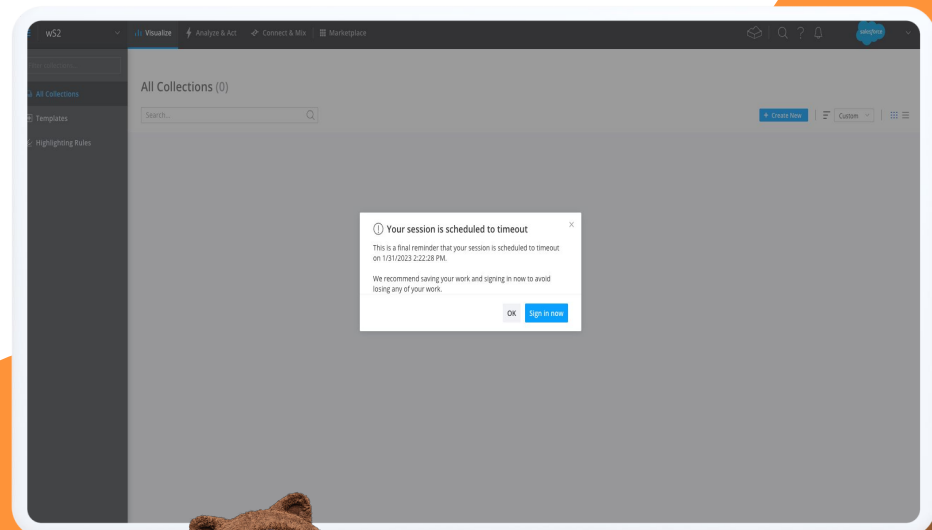
アクティブ / 非アクティブにかかわらず、ユーザーは 5 日経過後にプラットフォームへの再ログインを強制されるようになりました。

詳細

セッションタイムアウトとは、ユーザーがプラットフォームからログアウトするまでの非アクティブ時間のことです。

セッションタイムアウトの期間は、アカウント設定で設定することができます。現在では、非アクティブな状態にかかわらず、5 日後に強制的にタイムアウトされるようになりました。

該当するユーザーには、強制タイムアウトの前に複数回通知されます。





Thank you

